

24年度は石巻市の「復興元年」です

被災地支援報告

石巻元気復興センターの皆さん



JR石巻駅前にある観光案内板



25年度は、復興に向けたアピール元年にしていきます



被災後の状態のままの門脇小学校に掲げられたメッセージ



市内門脇町にあるボードは、復興のシンボルの存在

●現在の街の様子は？
私が石巻市へ赴任した平成24年4月当時と比較すると、街の様子はかなり変わってきています。当初は倒壊している家屋や工場などが散在していましたが、約11カ月を経過した今、その多くが解体され、更地になっている場所が多く見受けられるようになりました。



がれきが取り除かれ、主要道路以外は更地に

おそらく、今、石巻市へ来てその場所を見ると、初めから何もなかった場所のように錯覚する可能性もあると思います。そのくらい、大きく変わってきているような状況です。

大震災により大きな被害を受けた漁港や水産加工団地がある魚町周辺では、徐々に再開を目指して事業を開始しようとしています。また、市の観光名所として有名な「石ノ森萬画館」も3月下旬には本格的にオープンするほか、「石巻川開き祭り」をはじめさまざまなイベントを開催し、復興に向けたアピールを行っています。現地にいると、少しずつですが復興に向けて着実に前へ進んでいることを実感します。



震災3カ月後には、仮設で水揚げを再開

写真提供：石巻市

広報えびな2013年3月1日号

災害廃棄物対策課

【主な業務】災害廃棄物(がれき)の収集運搬処理および倒壊家屋・事業所などの解体収集運搬処理に関すること



がれき処理の管理などが中心業務のグループでは、情報共有は必須。効率的に作業を進めるため、日々確認作業を行っています。同課には、海老名市のほか、京都市や広島市、芦屋市、姫路市からも職員が派遣されています。

復興した主な観光施設



3月23日(土)から再オープン!

写真提供：石巻市

いしのもり 石ノ森萬画館



現在

石ノ森章太郎の創作理念を取り込んだアミューズメント館。本格的なオープン準備のため3月22日(金)まで一時休館中。



桜の名所として有名。眼下に見える南浜町などは今回の震災で大きな被害を被りました。

現在

ひよりやま 日和山公園



主な特産品・名物

写真提供：石巻市

震災前までは、水揚げ漁種日本一だった石巻漁港。豊富な種類の魚介類は、石巻市の自慢です。



ブランド魚「金華さば」、「金華かつお」、ホヤ、サンマ、ウニ、ホタテ、アワビ、カキ、べっこうシジミ、生わかめ、かまぼこ、たらこ、くじら料理、金華寿司(写真)、石巻焼きそば(写真)



道の駅で販売している地元のお菓子「モサガン」もお薦めです。自然薯入りでもっちり。美味しいですよ。



海老名の姉妹都市・宮城県白石市では、白石城の修復なども完了し、震災前の生活をほぼ取り戻しています。3月10日(日)～11日(月)に予定している「白石市市民視察」の行程には石巻市への訪問も含んでおり、海老名の元気を被災地へ届けます。



石巻市生活環境部災害廃棄物対策課派遣勤務
海老名市職員・森川浩次

予告 インターネット放送局

石巻からの被災地支援報告を、3月18日(月)から配信予定です。

海老名市インターネット放送局

検索